

かまひきこもり相談支援センターに関する事業報告

1. 総括

かまひきこもり相談支援センター開設2年目となった今年度は、ひきこもりや不登校についての相談窓口としてより認知度が増し、相談件数が増加しました。特に、電子メールでの相談が全体の7割を超え、家から一歩踏み出すことを躊躇してある方がご自身が感じている悩みや不安を電子メールを使うと相談しやすいことがわかりました。

ひきこもり家族会とともに、自宅以外に外出できる居場所としてのフリースペースを寄ってこハウスで開設し、ひきこもり状態にある本人や家族が延べ323人参加しました。また、月に一度は、稲築地区にある清浄学園に行き、カラオケをすることで、フリースペース以外の場所に行くことができたと自信がついた方もおられ、社会参加への一歩としての活動として、定例化しています。

また、当事者の方も参加できるようなひきこもり相談員研修を開催したことで、フリースペースでの過ごし方に変化が見られ、新しく来られた方への配慮をみなさんがされるようになりました。

中間的就労の場づくりとしては、に来られた方へ迎え入れる支える側となる仕組みや社会参加、就労を視野に入れた個別支援を進める中

2. 事業実績

(1) 相談及び支援事業

①相談件数 121件（来所4件 訪問6件 電話18件 メール82件 その他11件）

②家族の集い定例会の開催(月1回)

回数/12回 参加者数/83人 場所/寄ってこハウス

内容/ひきこもりの家族をもつ方々が集い、自由な時間を過ごすとともに、就労に向けた話し合いなども行った。

(2) ひきこもりに関する啓発事業

①ひきこもり相談員研修

開催年月日 平成28年6月23日（木）

参加者数 13人

場所 寄ってこハウス

テーマ 「ひきこもる気持ちへの向き合い方」

講師 三村吉郎さん

(3) 居場所づくりの推進

①フリースペースの開設(毎週1回)

開設回数 48回（毎週1回）

延べ参加者数 323人

場所 寄ってこハウス

内容 コーヒー等を飲みながらの語らい、トランプ、ビリヤードを楽しむなど、自由な時間を過ごしました。

(4) その他

①中間市社協 視察研修

開催年月日 平成28年7月6日（金）

参加者数 4人

場所 寄ってこハウス

内容 「嘉麻市社協が取り組むひきこもり支援事業について」寄ってこハウスでフリースペースを開設した経緯や、自宅中心の生活を送っておられる方と接する中で感じていることなどについて説明した。

②直方市不登校を考える会との交流会

開催年月日 平成27年12月5日（土）

参加者数 直方市不登校を考える会2人、家族会つながり5人

場所 寄ってこハウス

内容 交流会を開催し、現状や課題について意見交換をした。